

世界の穀物等の需給動向

平成16年11月

農 林 水 産 省

目 次

1	2004/05年度の穀物等の国際需給の概況	1
	(生産量は増加し、5年ぶりに消費量を上回る)	1
	(国際価格は、下落基調で推移)	2
2	個別品目の需給見通し	4
(1)	小麦	4
	(生産量、消費量は増加、貿易量は減少見込み)	
(2)	とうもろこし	7
	(生産量は5年連続増加、消費量、在庫量も増加の見込み)	
(3)	大麦・ソルガム	10
	(大麦は生産量増加、ソルガムは生産量、消費量とも減少見込み)	
(4)	大豆	12
	(生産量、期末在庫量ともに大幅増加見込み)	
(5)	油糧種子(大豆以外)	16
	(期末在庫量は、大幅に増加見込み)	
(6)	米(精米ベース)	18
	(期末在庫量は、大幅に減少見込み)	
	(付属統計表)	20

1 2004/05年度の穀物等の国際需給の概況

(生産量は増加し、5年ぶりに消費量を上回る)

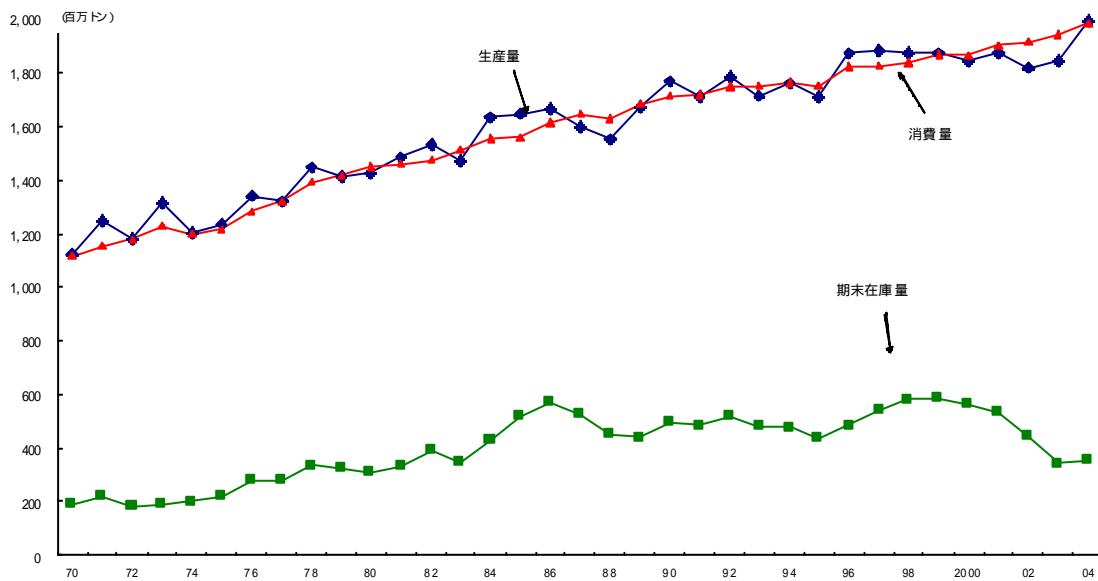
世界全体の穀物等の需給の動向は、供給面についてみると、2003/04年度、欧州における猛暑による小麦生産量の減少、北米中西部における干ばつによる大豆生産量の減少等があったものの、2004/05年度は、これら異常気象等の影響を受けた地域での穀物等の生産量の回復がみられ、かなり増加(8.0%)する見込みである。

一方、需要面についてみると、開発途上国の旺盛な需要、飼料用等の需要を背景に増加基調で推移している。(図1 穀物の生産、消費、在庫量)

2004/05年度の在庫率は、5年ぶりに生産量が消費量を上回る見込みのため穀物の期末在庫率は、前年度より0.1ポイント増の17.8%となり需給は緩和されるものの、依然在庫量は低水準である。

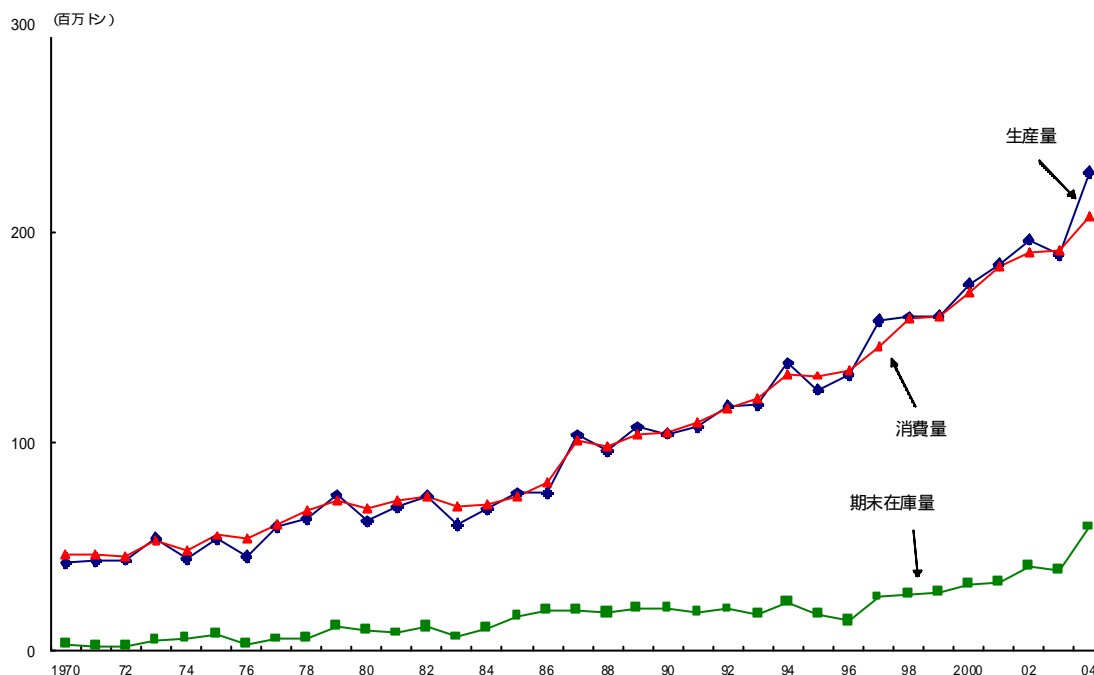
また、大豆の期末在庫率は、前年度より8.3ポイント増の28.5%に上昇する見込みである。(図2)

図1 穀物の生産、消費、在庫量の推移



資料：USDA「Grain: World Markets and Trade(October 2004)」

図2 大豆の生産量・消費量・期末在庫量の推移



資料：USDA「Grain: World Markets and Trade(October 2004)」

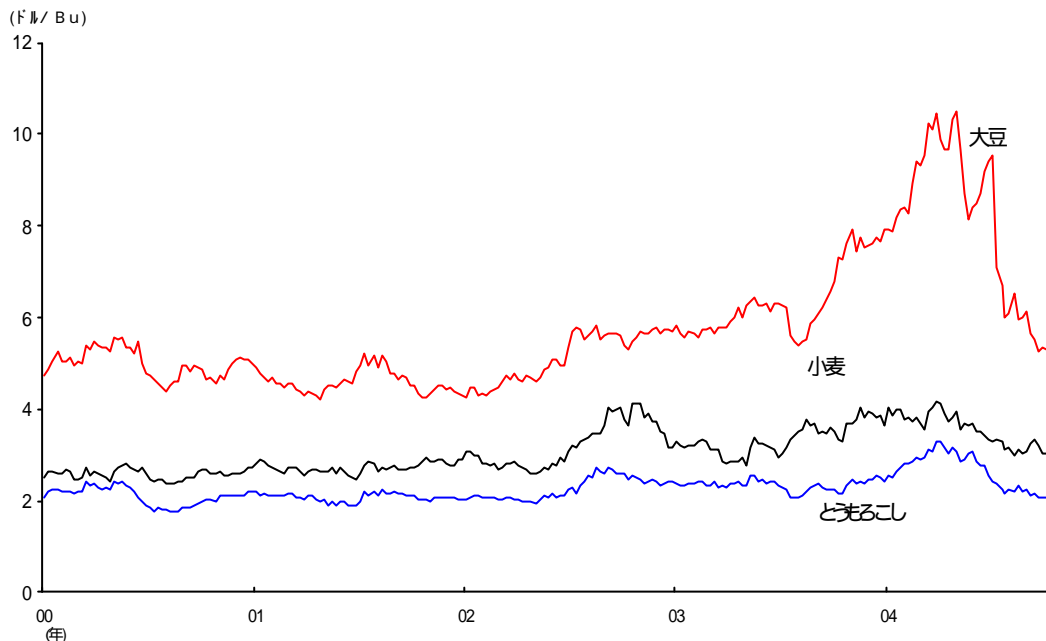
(国際価格は、下落基調で推移)

価格については、国際取引指標となるシカゴ商品取引所の期近価格をみると、小麦については、2003年以降欧州等の生産量の減少により上昇したが、2004年に入り下落基調で推移している。

とうもろこしについては、米国における堅調な需要、南半球での減産懸念、中国の輸出減少、世界の期末在庫量の減少見込みにより2004年4月2日には、3.31ドル/Buに達し、1996年7月22日の5.48ドル/Bu(過去最高)以来の水準となったものの、その後、米国での天候の回復から過去最高の生産量が見込まれることから下落基調で推移している。

大豆については、2004年には、前年の米国の減産に加え、南米(ブラジル、アルゼンチン)産地における作柄懸念から上昇し、3月22日には、10.56ドル/Buに達し、1973年6月の11.35ドル/Bu(過去最高)以来の水準となったが、その後、米国における天候の改善等により生産量が過去最高になると見込まれることから、下落基調で推移している。

図3 穀物等の国際価格の推移



資料 ロイター・ES時事
注 シカゴ商品取引所の各週金曜日の期近価格 (セントメント)である。

2 個別品目の需給見通し

(1) 小麦

(生産量、消費量は増加、貿易量は減少見込み)

生産量

世界の小麦生産量は、2004/05年度は、米国における乾燥天候により全米の小麦生産の7割を占める冬小麦の生産が減少することから米国の生産量は減少するものの、前年度減産したEU25、ロシア及びウクライナで天候条件が良好であったこと等から収穫面積及び単収とも増加し、生産が回復するため、全体ではかなり大きく生産量が増加(11.7%)する見込みである(表1及び表2)。

表1 世界の小麦需給

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度増減率
生 産 量	581.4	580.9	566.9	551.6	615.8	11.7
米 国	60.6	53.0	43.7	63.8	58.9	7.7
カナダ	26.5	20.6	16.2	23.6	24.5	4.0
豪州	22.1	24.3	10.1	24.9	23.5	5.7
アルゼンチン	16.2	15.5	12.3	13.5	14.5	7.4
EU25	124.2	113.6	124.5	106.6	133.3	25.0
ロシア	34.5	46.9	50.6	34.1	43.5	27.6
ウクライナ	10.2	21.3	20.6	3.6	17.5	386.1
中 国	99.6	93.9	90.3	86.5	90.0	4.1
インド	76.4	69.7	71.8	65.1	72.1	10.7
消 費 量	583.8	585.4	601.6	588.0	605.3	2.9
うち飼料用	104.0	107.8	112.7	98.2	108.6	10.6
貿 易 量	103.2	108.5	108.4	109.2	106.0	3.0
期 末 在 庫 量	206.5	202.1	167.4	131.0	141.5	8.0
在 庫 率	35.4	34.5	27.8	22.3	23.4	1.1

資料 : USDA 「Grain : World Markets and Trade (October 2004)」

注 : 1)年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年産冬小麦(収穫は2004年6~8月)、同春小麦(同8~10月)及び南半球の冬小麦(同2004年11月~2005年2月)の計(見込み)であり、貿易量は7~6月、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2)貿易量は輸出量を意味する。

3)在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

表2 世界の小麦生産の状況

	2004/2005年産			対前年増減率		
	生産量 (100万t)	収穫面積 (100万ha)	単収 (t/ha)	生産量 (%)	収穫面積 (%)	単収 (%)
米 国	58.88	20.3	2.9	7.7	5.4	2.5
カナダ	24.50	9.9	2.5	4.0	5.7	10.3
豪 州	23.50	12.5	1.9	5.7	0.8	6.5
アルゼンチン	14.50	6.1	2.4	7.4	7.0	0.4
EU25	133.25	23.2	5.7	25.0	5.9	18.0
ロシア	43.50	24.0	1.8	27.6	8.1	18.0
ウクライナ	17.50	5.7	3.1	386.1	128.0	113.2
中 国	90.00	21.5	4.2	4.1	3.6	7.9
インド	72.06	27.3	2.6	10.7	5.4	5.0

資料 : USDA 「Grain : World Markets and Trade (October 2004)」

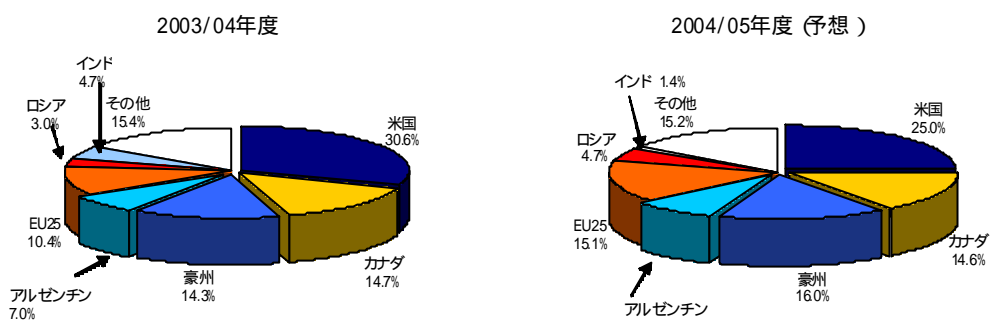
消費量

2004 / 05年度の世界の消費量は中国等で減少するものの、EU25等で増加することから全体ではわずかに増加（2.9%）が見込まれる。

貿易量

EU25では生産量の増加から輸出量が大幅に増加（45.5%）するものの、米国で輸出量がかなり大きく減少（15.9%）することが見込まれている（図4）。このため、世界の輸出量は、やや減少（3.0%）することが見込まれる。

図4 小麦輸出シェアの変化



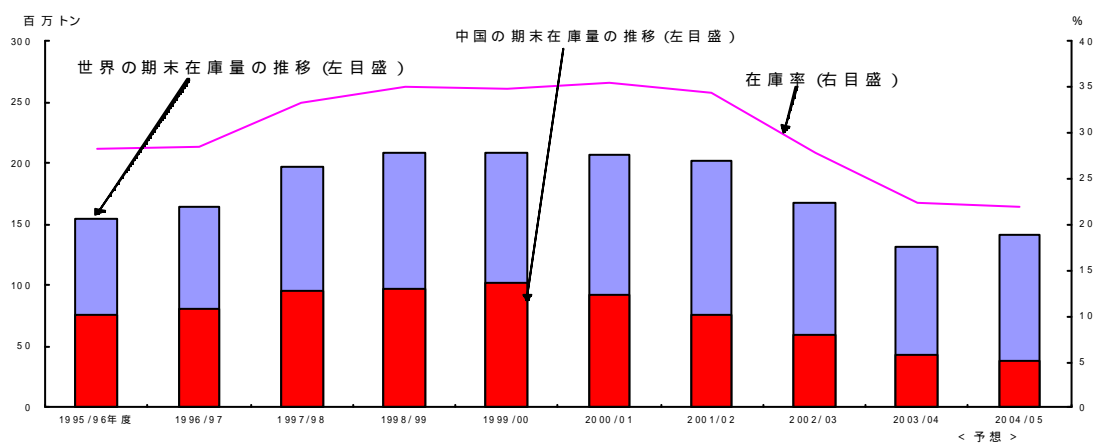
資料：USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

在庫量

2004 / 05年度の世界の期末在庫量は、中国で大幅に減少（11.5%）する見込みであるが、EU25、米国等で増加が見込まれるため、全体ではかなりの程度増加（8.0%）が見込まれる（図5）。

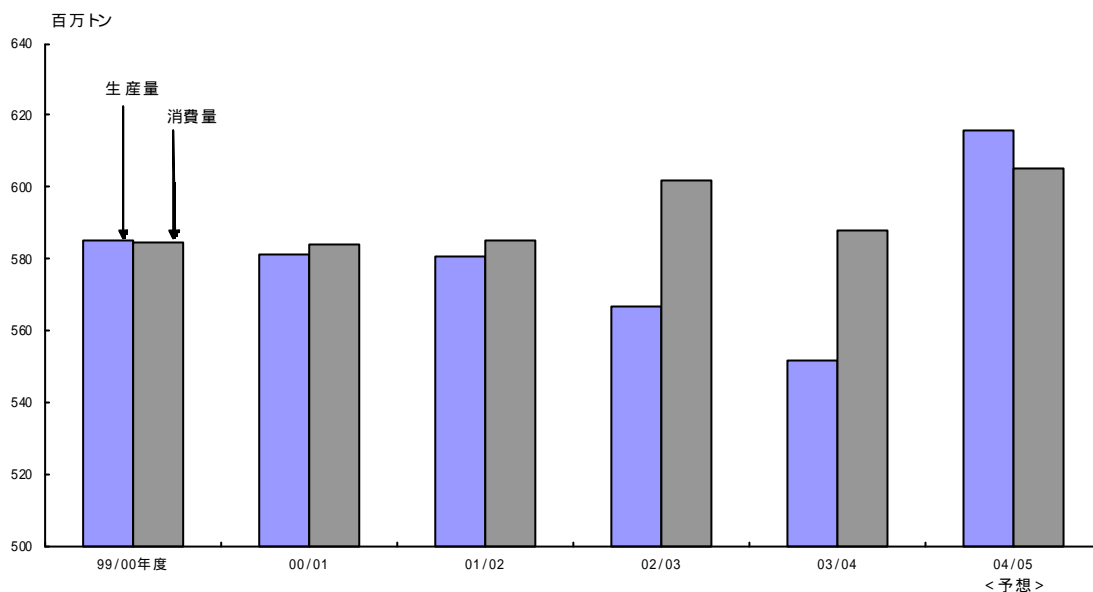
なお、2000 / 01年度以降4年連続で消費量が生産量を上回って推移していたが、2004 / 05年度については生産量が消費量を上回る見込みである（図6）。

図5 世界の小麦の在庫量及び在庫率の推移



資料：USDA「Grain: World Markets and Trade (October2004)」

図6 世界の小麦の生産量及び消費量の推移

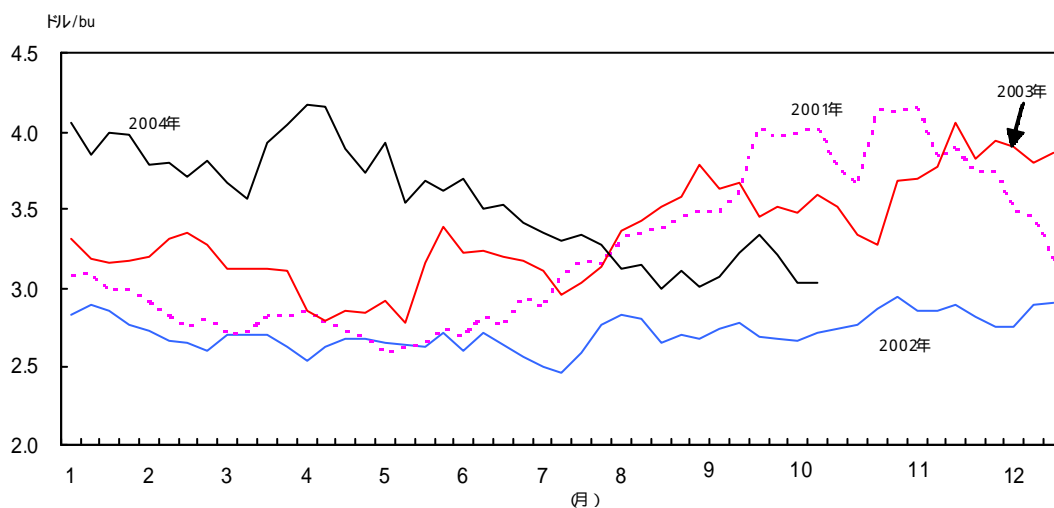


資料：USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

価格

価格について、国際取引指標となるシカゴ商品取引所の期近価格でみると、2004年に入り下落基調で推移し、3月中旬以降は上昇したものの、4月上旬以降は変動を伴いながら、下落基調で推移している(図7)。

図7 小麦の国際価格の推移



資料：ロイター・ES=時事
注：シカゴ商品取引所の各週金曜日の期近価格(セトルメント)である。

(2) とうもろこし

(生産量は5年連続増加、消費量、在庫量も増加の見込み)

生産量

2004/05年度は、天候条件が良好であった米国、EU25等で生産量が増加するため全体ではかなりの程度増加(10.5%)が見込まれ、2000/01年度以降、5年連続で生産量が増加する見込み(表3及び表4)。

表3 世界のとうもろこし需給

(単位:百万トン、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	589.5	598.8	601.5	618.9	683.7	10.5
米国	251.9	241.4	227.8	256.9	295.0	14.8
カナダ	6.8	8.4	9.0	9.6	8.5	11.5
アルゼンチン	15.4	14.7	15.5	12.8	15.5	21.6
ブラジル	41.5	35.5	44.5	42.0	42.5	1.2
インド	12.1	13.5	11.1	14.7	14.0	4.9
EU25	44.3	49.9	49.1	39.5	51.0	29.2
メキシコ	17.9	20.4	19.3	21.0	20.3	3.3
中国	106.0	114.1	121.3	115.8	122.0	5.3
その他	93.6	101.0	104.0	106.6	114.9	7.8
消 費 量	609.3	622.3	627.1	646.6	677.8	4.8
うち飼料用	427.4	436.4	434.8	446.4	463.1	3.8
貿 易 量	76.5	74.5	78.1	78.2	76.4	2.3
期 末 在 庫 量	171.5	148.0	122.4	94.7	100.7	6.3
在 庫 率	28.1	23.8	19.5	14.6	14.9	0.2

資料: USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

注: 1) 年度区分は、2004/2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫は9~11月)及び南半球の2005年産(同2004年3~7月)の計(見込み)であり、貿易量は10~9月、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計である。

2) 貿易量とは輸出量を意味する。

表4 世界のとうもろこし生産の状況

	2004/2005年産			対前年増減率		
	生産量 (100万t)	収穫面積 (100万ha)	単収 (t/ha)	生産量 (%)	収穫面積 (%)	単収 (%)
米 国	294.99	29.7	9.9	14.8	3.1	11.4
アルゼンチン	15.50	2.5	6.2	21.6	19.0	2.1
ブラジル	42.50	12.9	3.3	1.2	2.4	1.2
EU25	51.03	6.4	8.0	29.2	6.5	21.3
中 国	122.00	23.7	5.1	5.3	1.3	5.1

資料: USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

消費量

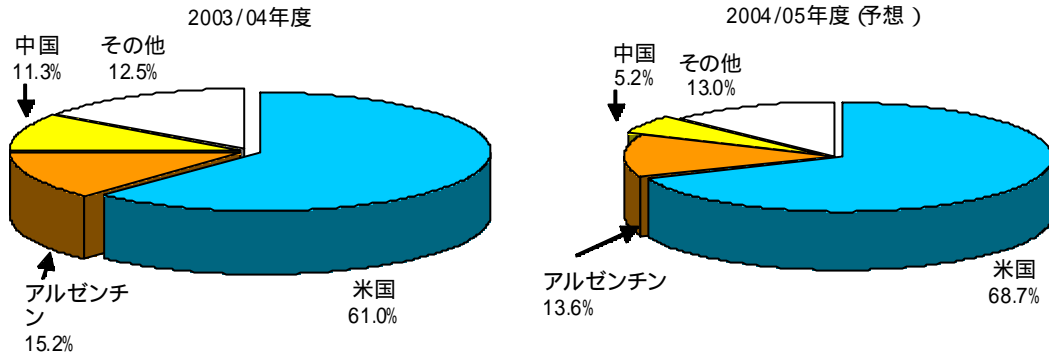
世界の消費量の33.1%(2004/05年度)を占める米国において牛・豚肉向けの飼料用需要や、とうもろこしを主原料とするエタノール需要が増加するため、米国の2004/05年度の消費量はやや増加(5.6%)すると見込まれる。また、EU25及び中国でも消費量の増

加が見込まれる。このため、2004 / 05年度の世界のとうもろこしの消費量はやや増加すること（ 4.8% ）が見込まれる。

貿易量

輸出量は、中国で大幅に減少（ 48.1% ）するため、米国等で増加が見込まれているものの（ 図 8 ）、世界全体ではわずかに減少（ 2.3% ）が見込まれる。

図 8 とうもろこし輸出シェアの変化

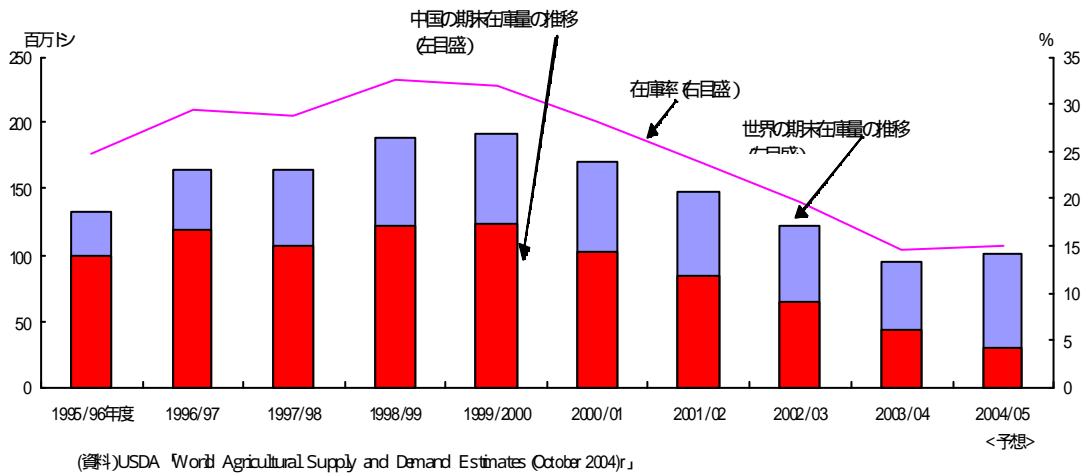


資料：USDA「Grain：World Markets and Trade (October 2004)」

在庫量

2004 / 05年度において、中国で期末在庫が大幅に減少（ 33.8% ）するものの、米国ではかなり大きく増加（ 76.6% ）し、EU25も大幅に増加（ 44.0% ）する見込みであるため、全体としてはかなりの程度増加（ 6.3% ）が見込まれる（ 図 9 ）。

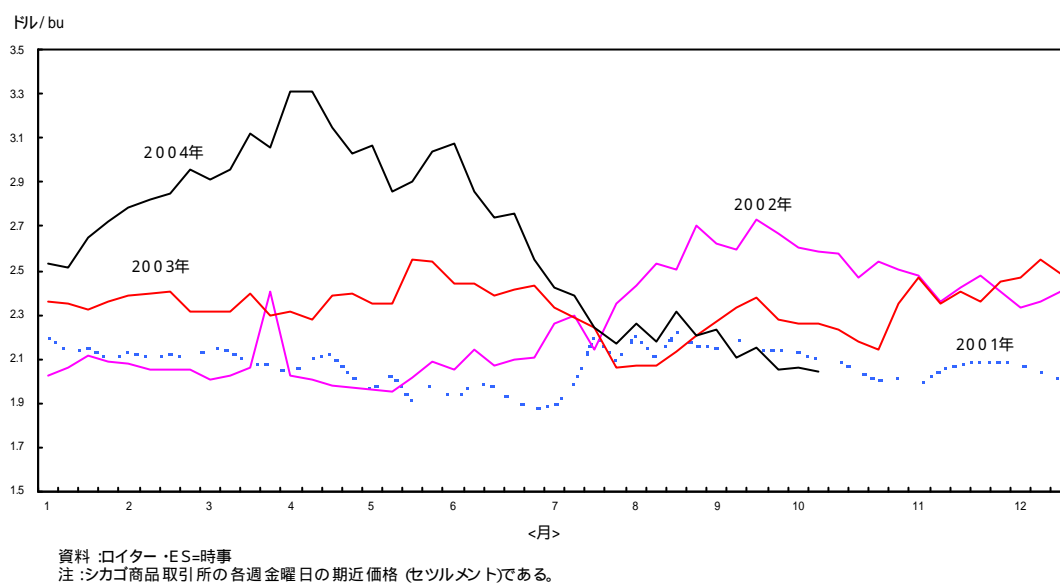
図 9 世界のとうもろこしの期末在庫量及び在庫率の推移



価格

価格について、国際取引指標となるシカゴ商品取引所の期近価格でみると、米国の堅調な需要、南半球の減産懸念、中国の輸出の減少、世界の期末在庫量の減少等により、2004年4月2日に3.31ドル/buと1996年7月22日の5.48ドル/bu（過去最高）以来の水準となったものの、それ以降は米国において作付後の生育状況が良好なこと等により、変動を伴いながら下落基調で推移している（図10）。

図10 とうもろこしの国際価格の推移



(3) 大麦・ソルガム

(大麦は生産量増加、ソルガムは生産量、消費量とも減少見込み)

主として飼料用として消費される大麦とソルガムの需給動向は以下のとおりである。

大麦

2004 / 05年度の生産量は豪州等で減少が見込まれるものの、最大の生産国であるEU25等で増加が見込まれるため、世界全体ではかなりの程度増加(8.4%)する見込みである。輸出量は豪州等で減少するものの、EU25等で増加が見込まれるため、全体ではかなりの程度(6.3%)増加する見込みである。

表5 世界の大麦需給

(単位:百万トシ、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度増減率
生 産 量	132.9	141.4	133.8	140.5	152.3	8.4
EU25	58.8	56.8	56.4	54.6	60.7	11.2
ロシア	14.1	19.5	18.7	18.0	18.5	2.8
カナダ	13.2	10.8	7.5	12.3	13.0	5.5
ウクライナ	6.9	10.2	10.4	6.9	11.2	63.5
豪州	6.7	8.3	3.9	8.6	7.6	11.9
トルコ	7.4	6.9	7.2	6.9	7.1	2.9
米国	6.9	5.4	4.9	6.1	6.1	0.7
消 費 量	134.2	135.9	135.5	146.0	144.8	0.8
うち飼料用	93.8	94.5	93.2	100.7	98.7	2.0
貿 易 量	16.9	17.1	16.9	14.3	15.3	6.3
期 末 在 庫 量	22.8	28.3	26.6	21.1	28.6	35.6
在 庫 率	17.0	20.8	19.6	14.4	19.7	5.3

資料: USDA 「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

- 注: 1) 年度区分は、2004 / 2005年度についてみると、生産量は2004年産(収穫は7~1月)、貿易量は10~9月、消費量期末在庫量は各国市場年度(末)の計である。
 2) 貿易量とは輸出量を意味する。
 3) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

ソルガム

2004 / 05年度の生産量は、米国等で増加するものの、インド、スーダン等で減少が見込まれるため、世界全体ではわずかに減少(1.4%)する見込みである。輸出量はブラジル等で減少が見込まれるものの、米国、豪州等で増加が見込まれることから、全体ではかなりの程度増加(6.8%)する見込みである。

表6 世界のソルガム需給

(単位:百万トシ、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度増減率
生 産 量	53.4	58.0	52.6	57.1	56.3	1.4
米国	12.0	13.1	9.2	10.4	11.7	12.3
インド	7.7	8.4	7.1	7.3	6.5	11.3
メキシコ	5.7	5.9	6.4	6.7	6.3	6.0
スーダン	2.8	4.5	2.9	5.2	4.4	16.2
中国	2.6	2.7	3.3	2.9	2.9	0.5
消 費 量	54.6	56.9	53.5	56.2	56.0	0.2
貿 易 量	7.6	7.3	5.9	6.3	6.8	6.8
期 末 在 庫 量	3.7	4.8	3.9	4.7	5.0	4.8
在 庫 率	6.9	8.4	7.2	8.4	8.9	0.4

資料: USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

注: 1) 年度区分は、2004/2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫は9~11月)及び南半球の2005年産(同2004年3~7月)の計(見込み)であり、貿易量は10~9月、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計である。

2) 貿易量とは輸出量を意味する。

3) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

(4) 大豆

(生産量、期末在庫量ともに大幅増加見込み)

生産

2004/05年度の世界の大豆生産量は、天候条件が良好であった米国、ブラジル等で増加するため、大幅に増加(20.8%)が見込まれる(表7)。

なお、ブラジル及びアルゼンチンの大豆生産量の合計が、昨年及び一昨年に引き続き米国を上回ると見込まれ、世界の大豆生産は米国中心から米国とブラジル・アルゼンチンの二極構造になっている(図11)。

2004/05年度の米国の収穫作業は、ほぼ半ば(2004年10月10日時点の収穫進捗率:58%)で、作柄は昨年に比べて良好である。

また、南米の大豆については、2004/05年度の作付作業はこれから開始されるものと見込まれている。このため、今後の作付動向及び天候動向で生産量が変動する可能性について注視が必要である。

表7 世界の大豆需給

(単位:百万トン、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	175.7	184.9	196.8	189.5	228.9	20.8
米 国	75.1	78.7	75.0	66.8	84.6	26.6
ブラジル	39.5	43.5	52.0	52.6	64.5	22.6
アルゼンチン	27.8	30.0	35.5	34.0	39.0	14.7
中 国	15.4	15.4	16.5	15.4	17.5	13.6
インド	5.3	5.4	4.0	6.8	7.0	2.9
その他	12.7	11.9	13.8	14.0	16.4	17.3
消 費 量	171.6	184.2	190.4	191.4	207.6	8.4
(うち搾油仕向)	146.6	158.0	164.9	165.4	178.5	7.9
貿 易 量	53.8	53.6	61.7	55.3	63.7	15.1
期 末 在 庫 量	31.9	33.2	40.7	38.6	59.2	53.5
在 庫 率	18.6	18.0	21.4	20.2	28.5	8.4

資料:USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」、World Agricultural Supply and Demand Estimates」(October 2004)」

注:1)年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫は9~11月)及び南半球の2005年産(同3~6月)の計(見込み)であり、消費量は2004年9月~05年8月、貿易量は2004年10月~04年10月の値であり、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2)在庫率(%)=期末在庫量×100/消費量

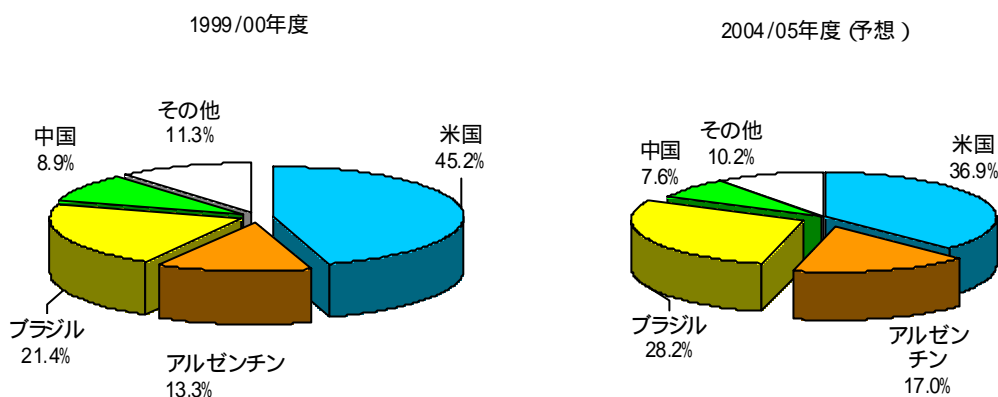
3)在庫率の対前年度増減率は、前年度とのポイント差である。

表8 世界の大豆生産の状況

	2004/2005年産			対前年増減率		
	生産量 (100万t)	収穫面積 (100万ha)	単収 (t/ha)	生産量 (%)	収穫面積 (%)	単収 (%)
米 国	84.56	29.94	2.82	26.6	2.1	24.0
ブラジル	64.50	23.00	2.80	22.6	7.2	14.4
アルゼンチン	39.00	14.20	2.75	14.7	1.4	13.1
中 国	17.50	9.80	1.79	13.6	5.4	7.8

資料:USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」

図11 大豆生産量シェアの変化



資料：USDA「Oilseeds： World Markets and Trade (October 2004)」

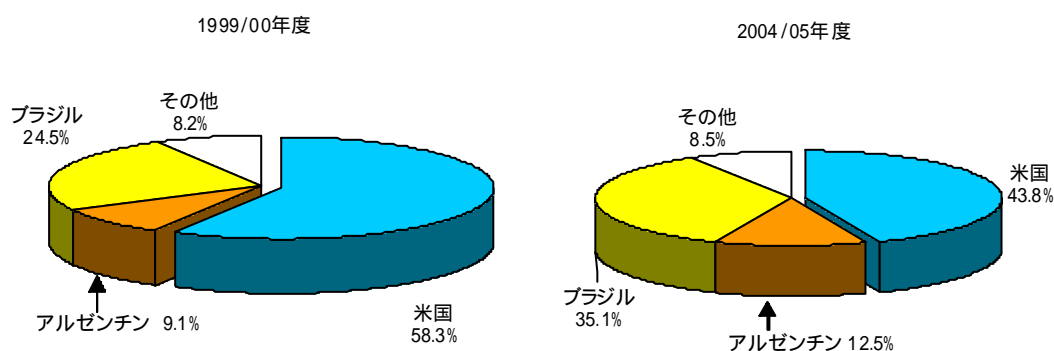
消費量

大豆消費量の大部分（86.0％）を占める搾油仕向の消費について、米国、ブラジル、中国等で搾油量が增加する見込みであるため、2004 / 05年度の消費量については、かなりの程度増加（8.4％）する見込みである。

貿易量

2004 / 05年度の米国の輸出量は大幅に増加（15.8％）し、ブラジルの輸出量もかなりの程度増加（12.9％）するため、世界全体の輸出量はかなり大きく増加（15.1％）する見込みである。ブラジルの世界に占める輸出シェアは最近、拡大し、2004 / 05年度は米国に迫る量となっている（図12）。なお、世界全体として見れば、このブラジルの増加分はかなりの部分が中国の輸入増加として吸収されるものと思われる。

図12 大豆の輸出シェアの変化

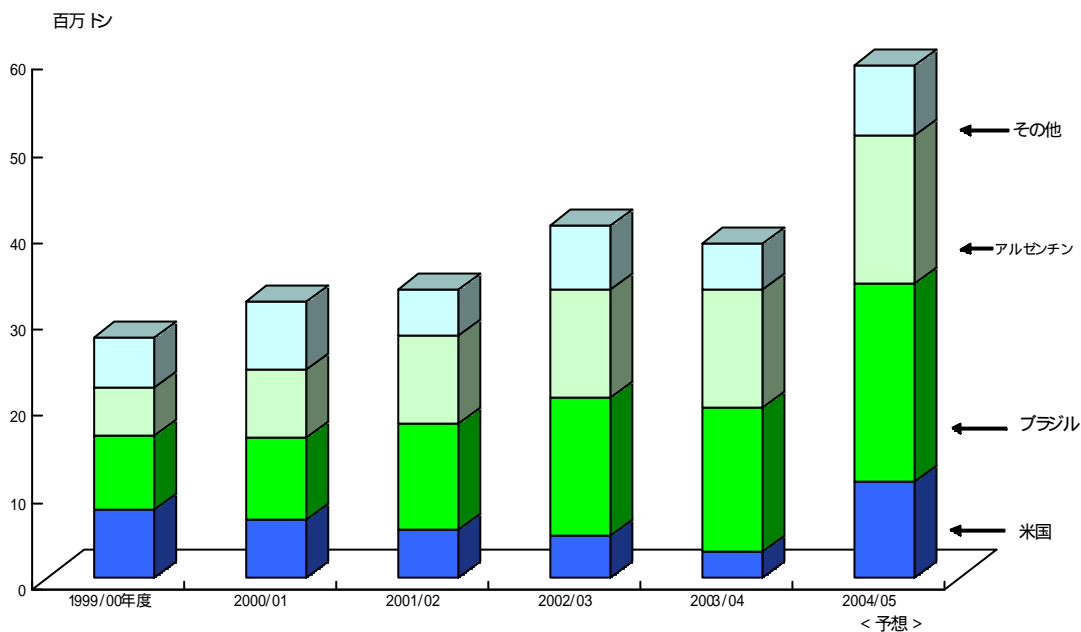


資料：USDA「Oilseeds： World Markets and Trade (October 2004)」

在庫量

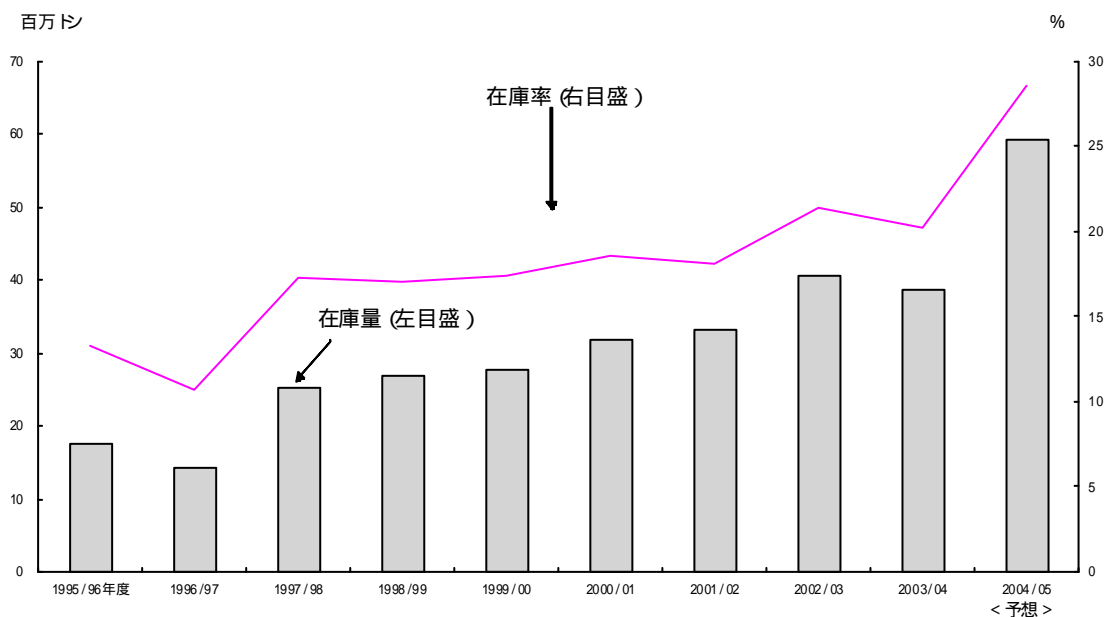
2004 / 05年度の世界の期末在庫量は、米国及びブラジルで大幅に増加するため、全体としても大幅に増加（53.5%）する見込みである（図13）及び（図14）。

図13 大豆の主産国の期末在庫量の推移



資料：USDA Oilseeds : World Markets and Trade (October 2004) 」

図14 世界の大豆の期末在庫量及び在庫率の推移

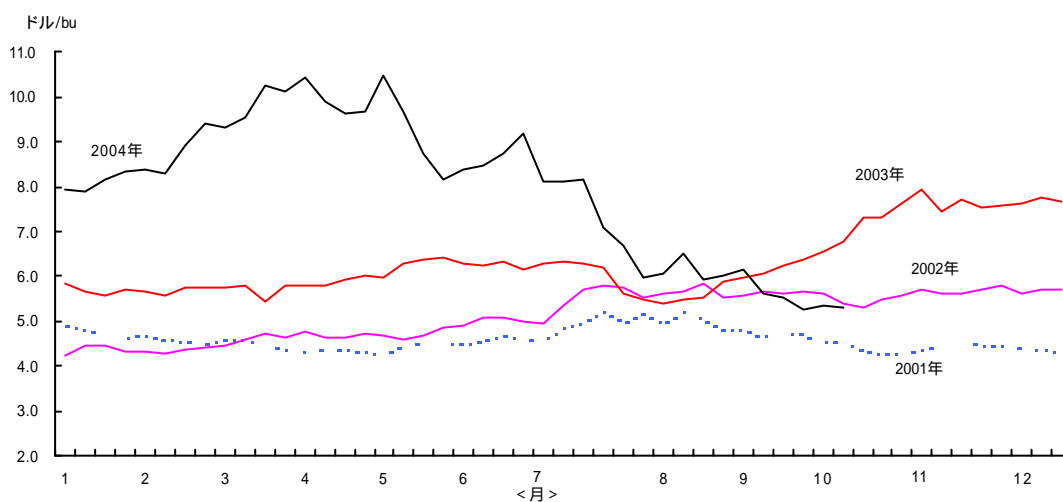


資料：USDA Oilseeds : World Markets and Trade (October 2004) 」

価格

価格について、国際取引指標となるシカゴ商品取引所の期近価格でみると、2004年2月以降、前年の米国における生産量減少に加え、ブラジル大豆主産地における多雨の影響が作柄の悪化、収穫作業の遅れにつながること及びアルゼンチンにおける高温乾燥気候が大豆生育に悪影響を与えるとの懸念から一段と上昇し、3月22日には10.56ドル/buに達し、最高値である1973年6月の11.35ドル/bu以来の水準となったが、その後は、4月下旬に一時的に上昇したものの、米国における良好な天候のもと下落基調で推移している(図15)。

図15 大豆の国際価格の推移



資料：ロイター・E S-時事
注：シカゴ商品取引所の各週金曜日の期近価格（セツルメント）である。

(5) 油糧種子(大豆以外)

(期末在庫量は、大幅に増加見込み)

なたね等の大豆以外の油糧種子は、搾油用として大豆との代替関係にあり、その需給動向は大豆の動向にも深く関わっている。

なお、主要な植物油の我が国における消費割合は、なたね油35.1%、大豆油30.9%、パーム油17.4%、コーン油3.8%(平成15年)である。

表9 世界の主要油糧種子需給(大豆以外)

(単位:百万トン、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度増減率
生 産 量	314.2	325.2	329.3	336.3	385.9	14.7
うち 綿実	33.5	36.6	32.9	35.5	41.3	16.2
ひまわり種子	23.2	21.4	23.9	26.4	25.2	4.5
搾 油 量	254.7	264.8	267.7	279.8	299.0	6.9
貿 易 量	66.9	63.4	70.9	66.6	75.4	13.2
期 末 在 庫 量	37.0	38.5	45.1	43.3	64.3	48.4
在 庫 率	14.5	14.6	16.8	15.5	21.5	6.0

資料:USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」

注:1) 年度区分は、2004/2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫は9~11月)及び南半球の2005年産(同3~6月)の計(見込み)であり、搾油量は2003年9月~04年8月、貿易量は2003年10月~04年9月の値であり、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2) 貿易量は輸出量である。

3) 在庫率(%)=期末在庫量/消費量×100

4) 在庫率の対前年度増減率は、前年度とのポイント差である。

なたね

2004/05年度のなたねの需給は以下のとおりである。

表10 世界のなたね需給

(単位:百万トン、%)

年 度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	増減率
生 産 量	37.6	36.1	32.5	39.4	42.3	7.3
中 国	11.4	11.3	10.6	11.4	12.0	5.1
E U 25	11.3	11.5	11.6	11.0	14.3	30.1
カナダ	7.2	5.0	4.2	6.8	7.0	3.4
インド	3.7	4.5	3.6	6.8	5.8	14.7
貿 易 量	7.2	4.8	4.1	5.4	6.1	13.2
搾 油 量	35.6	33.6	31.3	36.8	38.9	5.5
期 末 在 庫 量	2.7	2.8	1.9	1.8	2.3	25.2
在 庫 率	7.6	8.3	6.2	5.0	5.9	18.7

資料:USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」

注:1) 年度区分は、2004/2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫は9~11月)及び南半球の2005年産(同3~6月)の計(見込み)であり、搾油量は2004年9月~05年8月、貿易量は2004年10月~05年9月の値であり、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2) 貿易量とは輸出量を意味する。

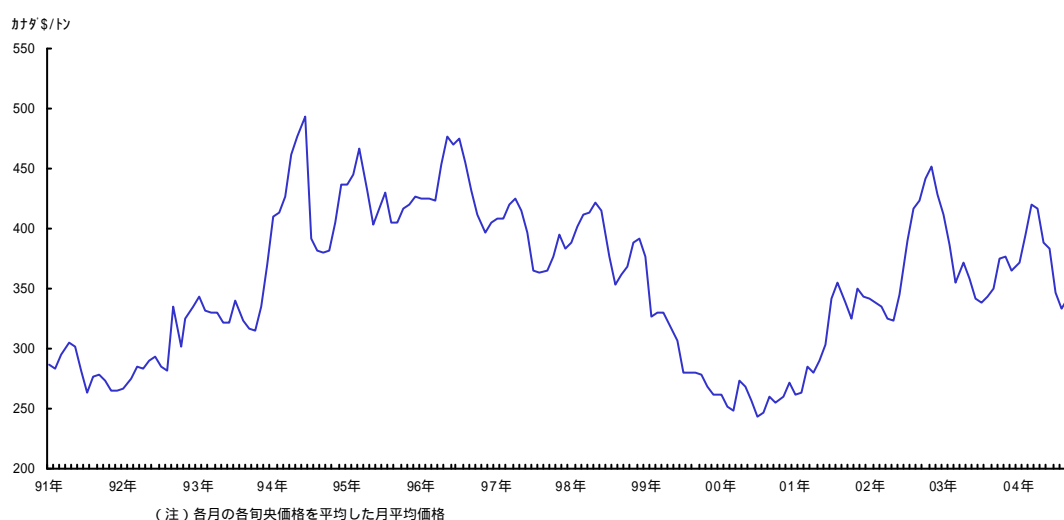
3) 在庫率(%)=期末在庫量×100/消費量

4) 在庫率の対前年度増減率は、前年度とのポイント差である。

2004 / 05年度の生産量はEU25で大幅に増加（30.1%）するため、世界全体でもかなりの程度増加（7.3%）する。また、輸出量もかなり大きく増加（13.2%）する（表10）。なお、カナダは輸出量では世界の約6割を占め、我が国のなたね輸入においては約8割を占めるが、2004 / 05年度の輸出量はわずかに減少（1.4%）する。

価格については、国際取引指標価格となるカナダのウイニペグ商品取引所の期近価格でみると、1トン当たりおよそ340カナダドルと5月以降、下落基調で推移している。（図16）

図16 なたね国際価格（カナダ・ウイニペグ商品取引所）の推移



綿実

2004 / 05年度の生産量は、主要生産国である中国、米国、インド等での増加により世界全体では大幅に増加（16.2%）し、輸出量は主要生産国の生産量の増加によりかなり大きく増加（14.4%）する。

ひまわり種子

2004 / 05年度の生産量は、ロシア、ウクライナ等の減少により世界全体ではやや減少（4.5%）する。輸出量も主要生産国の生産量の減少により、大幅に減少（22.3%）する。

(6) 米(精米ベース)

(期末在庫量は、大幅に減少見込み)

生産量

インドの生産量はやや減少(4.6%)が見込まれているものの、中国でかなり大きく増加(12.0%)が見込まれるため、世界全体ではわずかに増加(2.5%)が見込まれている(表8)。

なお、中国は世界の米の約3割を生産する最大の生産国であるが、1998/99年度から2003/04年度にかけて6年連続で減少したものの、2004/05年度については生産の減少に歯止めがかかる見込み。

表8 世界の米需給

(単位:百万トン、%)

年度	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
					(予想)	対前年度増減率
生産量	398.2	398.6	377.8	388.1	397.8	2.5
米 国	5.9	6.7	6.5	6.4	7.2	11.9
タ イ	17.1	17.5	17.2	17.7	17.9	1.1
中 国	131.5	124.3	122.2	112.5	126.0	12.0
インド	84.9	93.1	72.7	87.0	83.0	4.6
バングラデシュ	25.1	24.3	25.2	26.0	25.5	1.9
インドネシア	33.0	33.0	33.4	34.6	34.8	0.4
日 本	8.6	8.2	8.1	7.1	7.8	10.0
ミャンマー	10.8	10.4	10.8	10.7	10.2	5.4
ベトナム	20.5	21.0	21.5	21.3	21.5	0.8
ブラジル	6.9	7.1	7.1	8.7	7.9	9.3
貿易量	24.4	27.8	27.6	25.2	25.1	0.5
消費量	394.2	409.8	407.3	413.8	413.4	0.1
期末在庫量	150.4	139.2	109.7	84.0	68.4	18.6
在庫率	38.2	34.0	26.9	20.3	16.5	3.7

資料: USDA 「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

注: 1) 年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年後半と2005年初めに収穫されるもの、及び南半球の2005年の前半に収穫されるものの計(見込み)であり、貿易量は2004暦年、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2) 全て精米ベースである。

3) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

消費量及び輸出量

消費量については、これまで微増傾向で推移していたが、2004/05年度は中国でわずかに増加(0.2%)するものの、インドでわずかに減少(2.3%)するため、全体ではわずかに減少(0.1%)の見込みである。

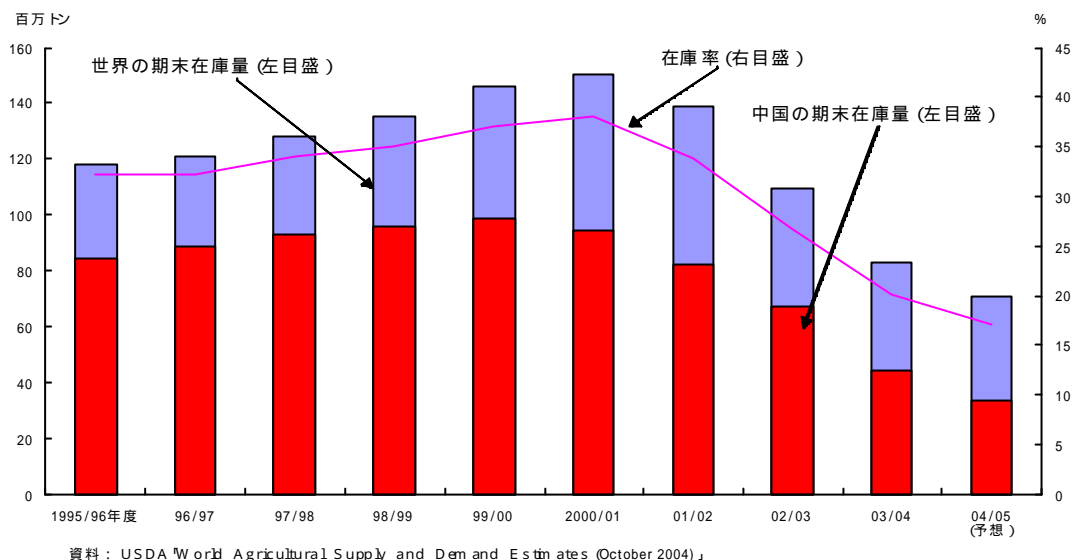
輸出量については、最大の輸出国であるタイがやや減少(5.4%)、ベトナムがわずかに減少(2.6%)することから全体ではわずかに減少(0.5%)の見込みである。

在庫量及び価格

期末在庫量は、消費量が生産量を上回っていること等から4年連続の減少が見込まれる。

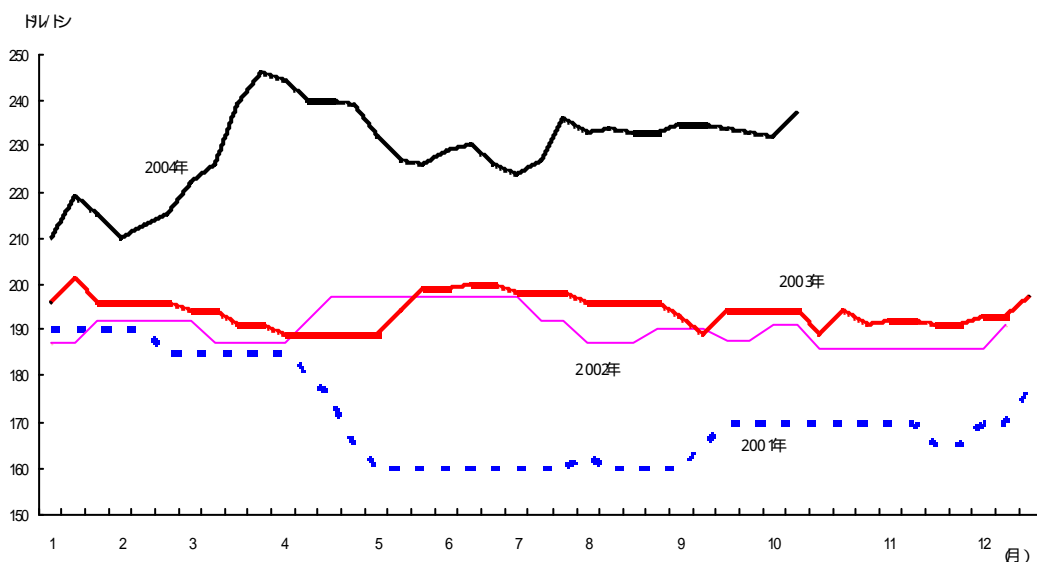
なお、期末在庫量の下落については中国の下落が大きく寄与している（図18）。

図18 世界の米の期末在庫量及び在庫率の推移



価格については、米の国際取引指標となるタイ国家貿易取引委員会公表価格(10%碎米)でみると、2004年に入り上昇基調で推移したものの、7月以降は横ばいで推移している（図19）。

図19 米の国際価格の推移



資料：タイ国家貿易取引委員会、うるち精米破米混入率10%のFOB価格(各週水曜日)

(付属統計表)

(1) 主要国別の小麦需給

(単位 : 100万トン、%)

		2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
		年 度				(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	米 国	60.6	53.0	43.7	63.8	58.9	7.7
	カナダ	26.5	20.6	16.2	23.6	24.5	4.0
	オーストラリア	22.1	24.3	10.1	24.9	23.5	5.7
	アルゼンチン	16.2	15.5	12.3	13.5	14.5	7.4
	E U25	124.2	113.6	124.5	106.6	133.3	25.0
	ロシア	34.5	46.9	50.6	34.1	43.5	27.6
	ウクライナ	10.2	21.3	20.6	3.6	17.5	386.1
	カザフスタン	9.1	12.7	12.6	11.5	10.0	13.0
	東ヨーロッパ	12.1	14.7	12.6	7.3	14.6	100.3
	中 国	99.6	93.9	90.3	86.5	90.0	4.1
	インド	76.4	69.7	71.8	65.1	72.1	10.7
	その他	89.8	94.9	101.7	111.1	113.5	2.2
	計		581.4	580.9	566.9	551.6	615.8
消 費 量	米 国	36.2	32.4	30.6	32.7	33.4	2.0
	ロシア	35.2	38.1	39.3	35.5	37.5	5.6
	ウクライナ	12.2	13.4	14.5	9.0	12.5	38.7
	中 国	110.3	108.7	105.2	104.5	102.0	2.4
	インド	66.8	65.1	74.3	68.4	72.0	5.2
	E U25	111.1	111.1	116.6	109.0	115.8	6.1
	その他	212.1	216.4	221.1	228.8	232.2	1.5
計		583.8	585.4	601.6	588.0	605.3	2.9
輸 出 量	米 国	28.9	26.2	23.1	31.6	26.5	15.9
	カナダ	17.3	16.3	9.4	15.8	15.5	1.8
	オーストラリア	15.9	16.4	9.1	17.8	17.0	4.5
	アルゼンチン	11.3	10.1	6.8	8.0	8.5	6.3
	E U25	16.8	14.2	19.9	11.0	16.0	45.5
	ロシア	0.7	4.4	12.6	3.2	5.0	56.3
	ウクライナ	0.1	5.5	6.6	0.1	3.5	5,203.0
その他	12.2	15.4	20.8	21.8	13.9	36.1	
計		103.2	108.5	108.4	109.2	105.9	3.0
輸 入 量	E U25	4.7	10.7	13.9	6.0	5.0	16.7
	ロシア	1.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0
	日 本	5.9	5.8	5.6	5.8	5.7	0.9
	東ヨーロッパ	1.9	1.9	1.9	4.4	1.5	65.6
	中国	0.2	1.1	0.4	3.7	8.0	113.4
	エジプト	6.1	6.9	6.3	7.3	7.0	4.1
	ブラジル	7.2	7.0	6.7	5.3	5.0	5.7
	韓 国	3.1	4.0	4.1	3.4	4.0	16.5
	バングラデシュ	1.3	1.6	1.3	1.8	1.8	0.0
	その他	69.9	68.7	66.9	65.2	63.7	2.3
計		101.9	108.4	107.8	103.6	102.4	1.2
期 末 在 庫 量	米 国	23.8	21.2	13.4	14.9	15.5	4.1
	中国	91.9	76.6	60.4	43.3	38.3	11.5
	E U25	16.0	14.9	16.8	9.4	15.9	69.5
	その他	74.8	89.4	76.8	63.5	71.9	13.3
計		206.5	202.1	167.4	131.0	141.5	8.0
在 庫 率		0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	1.1

資料 : USDA 「 Grain : World Markets and Trade (October2004) 」

注 : 1) 年度区分は、2004 / 2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産冬小麦 (収穫は2004年6 ~ 8月)、同春小麦 (同8 ~ 10月) 及び南半球の冬小麦 (同2004年11月 ~ 2005年2月) の計 (見込み) であり、貿易量は7 ~ 6月、消費量、期末在庫量は各国市場年度 (末) の計 (見込み) である。

2) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

(2) 主要国別の粗粒穀物需給

(単位：100万トン、%)

	2000/01 年 度	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05		
					(予想)	対前年度 増減率	
生 産	(とうもろこし)	589.5	598.8	601.5	618.9	683.7	10.5
	(大 麦)	132.9	141.4	133.8	140.5	152.3	8.4
	(ソルガム)	53.4	58.0	52.6	57.1	56.3	1.4
	米 国	273.1	261.7	243.7	275.7	314.7	14.1
	カナダ	24.0	22.6	18.9	26.3	25.8	2.1
	オーストラリア	10.1	12.2	6.7	12.4	11.3	9.5
	アルゼンチン	19.6	18.7	19.4	16.4	19.3	17.1
	ブラジル	43.1	36.8	47.1	44.8	45.4	1.3
	インド	31.6	34.7	25.7	37.3	29.9	19.8
	メキシコ	24.5	27.2	26.5	28.7	27.5	4.4
	E U25	132.5	139.7	137.4	121.7	144.7	18.9
	ウクライナ	13.0	17.0	17.1	15.6	20.7	32.7
	中 国	114.0	122.2	130.7	124.6	130.8	5.0
	その他	175.7	198.4	199.2	200.2	206.9	3.4
計	861.1	891.3	872.4	903.8	976.9	8.1	
消 費 量	米 国	215.4	216.8	214.7	226.5	239.4	5.7
	ロシア	26.8	29.1	29.9	33.3	28.8	13.4
	中 国	130.4	132.9	136.4	140.0	143.7	2.6
	インド	31.5	33.9	26.8	36.0	30.3	15.7
	韓 国	9.0	9.4	9.2	9.9	9.4	5.5
	E U25	130.7	134.1	135.5	135.0	137.1	1.6
	その他	339.5	348.9	349.1	360.1	374.1	3.9
計	883.3	905.0	901.5	940.8	962.8	2.3	
輸 出 量	米 国	55.4	54.0	46.4	54.0	58.6	8.6
	ロシア	1.0	2.7	3.5	2.7	2.0	24.3
	オーストラリア	5.0	4.8	2.6	5.6	4.7	15.3
	アルゼンチン	13.0	9.1	13.1	10.4	10.6	1.5
	南アフリカ	1.5	1.2	1.2	0.9	1.0	9.0
	E U25	9.0	7.7	9.7	2.7	3.8	43.0
	中 国	7.3	8.6	15.3	7.9	4.1	48.3
	その他	12.3	14.1	12.6	17.3	16.5	4.5
計	104.4	102.2	104.5	101.3	101.3	0.1	
輸 入 量	中 国	2.4	2.0	1.8	1.6	2.0	28.9
	日 本	20.2	19.9	20.3	20.1	20.1	0.1
	韓 国	8.9	8.8	8.9	9.5	9.1	4.6
	メキシコ	11.2	9.0	8.8	8.9	10.9	22.7
	ロシア	0.6	0.7	0.4	0.9	1.0	9.9
	サウジアラビア	6.5	7.3	8.9	7.2	8.1	12.5
	台 湾	5.2	4.9	4.8	5.0	4.9	2.3
	E U25	5.5	5.9	6.7	7.6	3.1	59.9
その他	44.1	43.6	43.8	40.5	42.1	4.0	
計	104.4	102.2	104.5	101.3	101.3	0.1	
期末在庫量	208.3	194.6	165.6	128.6	142.7	11.0	
うち米 国	52.7	45.0	30.9	28.8	47.5	65.1	
在庫率	23.6	21.5	18.4	13.7	14.8	1.2	

資料：USDA「Grain：World Markets and Trade (October 2004)」

注：1) 年度区分は、2004 / 2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産（収穫はとうもろこしが9～11月）及び南半球の2005年産（同2004年3～7月）の計（見込み）

2) 粗粒穀物は、とうもろこし、大麦、燕麦、ソルガム、ライ麦、ミレット、ミックسدグレーンを含む。

3) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

(3) 主要国別のとうもろこし需給

(単位:100万トン、%)

年 度		2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
						(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	米国	251.9	241.4	227.8	256.9	295.0	14.8
	カナダ	6.8	8.4	9.0	9.6	8.5	11.5
	アルゼンチン	15.4	14.7	15.5	12.8	15.5	21.6
	ブラジル	41.5	35.5	44.5	42.0	42.5	1.2
	インド	12.1	13.5	11.1	14.7	14.0	4.9
	EU25	44.3	49.9	49.1	39.5	51.0	29.2
	メキシコ	17.9	20.4	19.3	21.0	20.3	3.3
	中国	106.0	114.1	121.3	115.8	122.0	5.3
	その他	93.6	101.0	104.0	106.6	114.9	7.8
	計	589.5	598.8	601.5	618.9	683.7	10.5
消 費 量	米国	198.1	200.9	200.7	212.3	224.0	5.6
	ブラジル	34.5	34.8	37.5	38.8	40.0	3.1
	中国	120.2	123.1	125.9	129.4	133.0	2.8
	インド	12.0	13.1	12.0	13.7	14.0	2.2
	日本	16.2	16.3	16.8	16.9	16.8	0.6
	カナダ	10.1	12.0	12.6	11.2	10.6	5.1
	エジプト	10.9	11.2	10.9	10.2	10.7	4.9
	メキシコ	24.0	23.6	24.7	26.2	26.5	1.1
	その他	183.3	187.3	186.0	188.0	202.1	7.5
計	609.3	622.3	627.1	646.6	677.8	4.8	
輸 出 量	米国	48.3	47.3	40.9	48.5	52.5	8.2
	アルゼンチン	12.2	8.6	12.3	10.0	10.0	0.0
	ブラジル	3.7	3.9	3.2	5.5	3.0	45.5
	中国	7.3	8.6	15.2	7.7	4.0	48.1
	その他	4.9	6.2	6.4	6.5	6.9	6.1
計	76.5	74.5	78.1	78.2	76.4	2.3	
輸 入 量	日本	16.3	16.4	16.9	16.8	16.8	0.0
	韓国	8.7	8.6	8.8	9.3	8.9	4.3
	メキシコ	5.9	4.1	5.3	5.8	6.3	8.6
	台湾	4.9	4.7	4.7	4.8	4.7	2.1
	マレーシア	2.6	2.4	2.4	2.1	2.0	4.8
	EU25	3.8	3.8	4.3	5.7	2.5	56.1
	エジプト	5.3	4.9	4.8	4.0	4.5	12.5
	米国	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	8.6
	その他	28.7	29.5	30.5	29.4	30.3	3.3
計	76.5	74.5	78.1	78.2	76.4	2.3	
在 庫 量	中国	102.4	84.8	65.0	43.8	29.0	33.8
	米国	48.2	40.6	27.6	24.3	43.0	76.6
	EU25	2.1	2.7	4.8	3.1	4.5	44.0
	その他	18.8	20.0	25.0	23.5	24.3	3.3
	計	171.5	148.0	122.4	94.7	100.7	6.3
在 庫 率		28.1	23.8	19.5	14.6	14.9	0.2

資料: USDA 「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

注: 1) 年度区分は、2004/2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産(収穫はとうもろこしが9~11月)及び南半球の2005年産(同2004年3~7月)の計(見込み)であり、貿易量は10~9月、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計である。

2) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

(4) 世界の大豆需給

(単位：100万トン、%)

		2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
						(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	米 国	75.06	78.67	75.01	66.78	84.56	26.6
	ブラジル	39.50	43.50	52.00	52.60	64.50	22.6
	アルゼンチン	27.80	30.00	35.50	34.00	39.00	14.7
	中 国	15.40	15.41	16.51	15.40	17.50	13.6
	インド	5.25	5.40	4.00	6.80	7.00	2.9
	パラグアイ	3.50	3.55	4.50	4.00	5.00	25.0
	その他	9.22	8.38	9.29	9.97	11.38	14.1
	計	175.73	184.91	196.81	189.55	228.94	20.8
搾油仕向量		146.61	158.03	164.86	165.36	178.49	7.9
輸 出 量		53.80	53.59	61.66	55.29	63.66	15.1
	米 国	27.10	28.95	28.42	24.09	27.90	15.8
	ブラジル	15.47	15.00	19.73	19.81	22.37	12.9
	アルゼンチン	7.42	6.01	8.71	6.80	7.97	17.2
	パラグアイ	2.51	2.39	3.20	2.47	2.95	19.4
	その他	1.30	1.24	1.60	2.12	2.47	16.5
輸 入 量		52.95	54.24	62.72	55.11	62.96	14.2
	EU25	17.45	18.37	16.82	15.29	15.86	3.7
	中 国	13.25	10.39	21.42	16.90	22.50	33.1
	日 本	4.77	5.02	5.09	4.90	5.00	5.0
	メキシコ	4.38	4.51	4.23	4.00	4.60	15.0
	台 湾	2.33	2.58	2.35	2.30	2.41	4.8
	その他	10.77	13.37	12.81	11.72	12.59	7.4
期 末 在 庫 量		31.86	33.23	40.67	38.59	59.25	53.5

資料：USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」

注：年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年産（収穫は9～11月）及び南半球の2005年産（同3～6月）の計（見込み）である。

(5) 世界の主要油糧種子需給

(単位：100万トン、%)

		1999/00	2000/01	2001/02	2002/03	2003/04	
						(予想)	対前年度 増減率
	計	314.18	325.23	329.28	336.33	385.85	14.7
生 産 量	大豆	175.73	184.91	196.81	189.55	224.94	18.7
	(大豆を除く合計)	138.45	140.32	132.47	146.78	160.91	9.6
	綿実	33.51	36.61	32.87	35.53	41.28	16.2
	ピーナッツ	31.35	33.78	30.35	34.65	34.50	0.4
	ひまわり種子	23.18	21.37	23.94	26.41	25.21	4.5
	なたね	37.61	36.14	32.50	39.38	42.26	7.3
	パーム核	7.03	7.20	7.63	7.93	8.14	2.6
	コブラ	5.77	5.22	5.18	5.36	5.51	2.8
搾油仕向量		254.67	264.76	267.69	279.75	299.04	6.9
(大豆を除く)		10	106.73	102.83	114.39	120.55	5.4
貿 易 量		66.90	63.37	70.88	66.58	75.40	13.2
(大豆を除く)		13.10	9.78	9.22	11.29	11.74	4.0
期 末 在 庫 量		36.96	38.53	45.06	43.30	64.25	48.4
(大豆を除く)		5.10	5.30	4.39	4.71	5.00	6.2

資料：USDA「Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)」

注：1) 年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年産（収穫は9～11月）及び南半球の2005年産（同3～6月）の計（見込み）である。

2) 貿易量は輸出量である。

(6) 世界の大豆需給(Oil World 資料)

(単位：100万トン、%)

		2000/01 年度	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05	
						(予想)	対前年度 増減率
生 産 量	米 国	75.06	78.67	75.01	66.95	78.10	16.7
	ブラジル	39.06	42.77	52.02	49.78	60.00	20.5
	アルゼンチン	27.40	30.00	34.82	32.00	36.70	14.7
	中 国	15.41	15.41	16.51	15.70	17.70	12.7
	インド	5.01	5.35	4.30	6.80	6.50	4.4
	カナダ	2.70	1.64	2.34	2.31	2.47	6.9
	EU25	1.19	1.31	0.90	0.69	0.78	13.0
	パラグアイ	3.51	3.30	4.20	3.80	4.80	26.3
	その他	5.91	6.02	6.55	6.92	7.72	11.6
	計	175.25	184.47	196.65	184.95	214.77	16.1
消 費 量		170.12	183.11	190.93	191.49	204.77	6.9
(搾油仕向)		146.63	159.52	167.92	168.84	180.79	7.1
輸 出 量		53.18	53.85	61.48	55.72	63.2	13.4
米 国		27.29	29.21	28.76	23.83	27.2	14.1
ブラジル		15.47	15	19.38	20.4	23.4	14.7
アルゼンチン		7.16	5.95	8.74	6.8	7.4	8.8
その他		3.26	3.69	4.6	4.69	5.2	10.9
輸 入 量		53.13	53.696	61.481	55.72	63.22	13.5
EU25		17.4	17.93	16.29	14.9	15.85	6.4
中 国		13.25	10.386	20.42	18.08	22	21.7
日 本		4.77	5.023	5.09	4.74	5.02	5.9
メキシコ		4.31	4.48	4.184	3.8	4.3	13.2
台 湾		2.33	2.578	2.35	2.32	2.48	6.9
その他		11.636	21.549	8.849	12.55	13.57	8.1
期 末 在 庫 量		40.26	41.62	47.34	40.80	50.80	24.5
在 庫 率		23.7	22.7	24.8	21.3	24.8	3.5

資料：ISTA「OIL WORLD (22 September 2004)」

注：1) 年度区分は、2004 / 2005年度についてみると、生産量は北半球の2004年産（収穫は9～11月）及び南半球の2005年産（同3～6月）の計（見込み）であり、消費量は2004年9月～05年8月、貿易量は2003年10月～04年9月の値であり、期末在庫量は各国市場年度（末）の計（見込み）である。

2) 在庫率(%) = 期末在庫量 × 100 / 消費量

3) 在庫率の対前年度増減率は、前年度とのポイント差である。

(7) 世界の大豆油需給 (Oil World 資料)

(単位：100万トン、%)

		2000/2001	2001/2002	2002/2003	2003/2004	
		年度			(予想)	増減率
生産量	EU25	3.02	3.03	2.54	2.66	4.4
	ブラジル	4.35	5.33	5.69	6.03	5.9
	米国	8.36	8.36	7.71	8.36	8.4
	アルゼンチン	3.19	4.39	4.83	5.15	6.6
	中国	3.27	4.48	4.61	5.00	8.6
	インド	0.76	0.66	1.09	1.04	4.9
	その他計	4.09	4.79	4.49	4.83	7.7
		27.04	31.04	30.97	33.07	6.8
消費量	米国	7.40	7.77	7.64	7.78	1.8
	ブラジル	3.00	3.03	3.06	3.10	1.2
	中国	3.30	6.04	7.34	8.13	10.7
	インド	1.99	2.09	1.93	1.90	1.4
	その他計	10.80	12.40	11.28	11.86	5.1
		26.48	31.34	31.26	32.77	4.8
輸入量	中国	0.21	1.76	3.00	3.10	3.3
	インド	1.36	1.33	0.82	0.90	9.8
	その他計	5.89	6.09	5.38	5.89	9.5
		7.45	9.18	9.20	9.89	7.5
輸出量	米国	0.64	1.02	0.41	0.57	38.3
	アルゼンチン	3.14	4.00	4.57	4.85	6.1
	ブラジル	1.54	2.34	2.71	2.93	7.9
	その他計	2.30	1.84	1.41	1.61	14.6
		7.61	9.21	9.10	9.96	9.4
期末在庫		3.50	2.77	2.58	2.82	9.1
在庫率		13.2	8.8	8.3	8.6	0.3

資料：ISTA「OIL WORLD(22 September 2004)」

(8) 世界の大豆かす需給

(単位：100万トン、%)

		2000/2001	2001/2002	2002/2003	2003/2004	
		年度			(予想)	増減率
生産量	EU25	12.93	12.88	10.98	11.59	5.6
	ブラジル	17.72	21.53	22.86	24.33	6.4
	米国	35.73	34.67	32.88	36.09	9.8
	アルゼンチン	13.69	18.66	20.26	21.75	7.4
	中国	15.61	21.04	21.63	34.50	59.5
	インド	3.49	3.02	4.98	4.74	4.9
	その他計	18.14	20.85	19.66	10.22	48.0
		117.31	132.65	133.25	143.22	7.5
消費量	米国	28.74	29.30	29.29	30.75	5.0
	EU25	27.75	33.88	33.12	35.00	5.7
	中国	15.15	20.23	21.17	22.90	8.2
	その他計	45.48	48.86	49.74	53.53	7.6
		117.13	132.27	133.32	142.18	6.6
輸入量	EU25	16.75	21.36	22.60	23.90	5.8
	中国	0.10	0.00	0.03	0.15	417.2
	韓国	1.41	1.50	1.37	1.55	13.1
	その他計	19.87	20.23	21.98	24.24	10.3
		38.13	43.08	45.98	49.84	8.4
輸出量	米国	6.95	5.53	3.87	5.32	37.5
	アルゼンチン	13.36	18.01	19.35	21.10	9.0
	ブラジル	10.94	13.96	14.70	16.00	8.8
	その他計	6.64	5.75	7.87	7.60	3.4
		37.89	43.25	45.79	50.02	9.2
期末在庫		5.73	5.57	5.69	6.56	15.2
在庫率		4.9	4.2	4.3	4.6	7.0

資料：ISTA「OIL WORLD(22 September 2004)」

(9) 主要国別の米需給 (精米ベース)

(単位: 100万トン、%)

	2000/01 年度	2001/02	2002/03	2003/04	2004/05		
					(予想)	増減率	
生産量	米国	5.9	6.7	6.5	6.4	7.2	12.4
	タイ	17.1	17.5	17.2	17.7	17.9	1.1
	中国	131.5	124.3	112.2	112.5	126.0	12.0
	インド	84.9	93.1	72.7	87.0	83.0	4.6
	バングラデシュ	25.1	24.3	25.2	26.0	25.5	1.9
	ブラジル	6.9	7.1	7.0	8.6	7.9	8.1
	ミャンマー	10.8	10.4	10.8	10	10.2	5.4
	インドネシア	33.0	33.0	33.4	34.6	34.8	0.4
	日本	8.6	8.2	8.1	7.1	7.8	10.0
	韓国	5.3	5.5	4.9	4.5	4.7	5.6
	パキスタン	4.8	3.9	4.5	4.9	5.0	2.0
	ベトナム	20.5	21.0	21.5	21.3	21.5	0.8
	フィリピン	8.1	8.5	8.5	9.0	9.2	2.2
	その他	35.7	35.1	45.2	37.8	37.3	1.5
	計	398.2	398.6	377.8	388.1	397.8	2.5
消費量	米国	3.7	3.9	3.5	3.6	3.8	4.4
	バングラデシュ	25.0	25.6	26.1	26.4	26.7	1.1
	中国	134.4	134.6	134.8	135.4	135.7	0.2
	インド	75.9	87.4	80.7	84.4	82.4	2.3
	インドネシア	35.9	36.4	36.5	36.6	36.6	0.1
	ベトナム	16.5	17.3	17.8	18.2	18.6	2.2
	タイ	9.3	9.5	9.6	9.8	9.9	1.5
	フィリピン	8.8	9.0	9.6	10.3	10.3	0.5
	ミャンマー	9.7	9.9	10.1	10.2	10.3	1.0
	その他	75.2	76.4	78.5	79.1	79.1	0.0
計	394.2	409.8	407.3	413.8	413.4	0.1	
輸出入量	米国	2.5	3.3	3.8	3.3	3.4	1.5
	ミャンマー	0.7	1.0	0.4	0.1	0.4	300.0
	インド	1.9	6.7	4.4	2.8	2.5	10.7
	中国	1.8	2.0	2.6	1.0	1.0	0.0
	パキスタン	2.4	1.6	2.0	1.8	2.1	16.7
	タイ	7.5	7.2	7.6	9.3	8.8	5.4
	ベトナム	3.5	3.2	3.8	3.9	3.8	2.6
	その他	4.0	2.8	3.0	3.1	3.3	4.3
計	24.4	27.8	27.6	25.2	25.1	0.5	
輸入量	ブラジル	0.7	0.6	1.1	0.7	0.7	0.0
	中国	0.3	0.3	0.3	1.0	0.6	40.0
	インドネシア	1.5	3.5	2.8	0.8	1.5	87.5
	イラン	0.8	1.0	0.9	1.0	1.0	0.0
	フィリピン	1.2	1.3	1.3	1.1	0.8	27.3
	バングラデシュ	0.4	0.3	1.1	0.6	0.6	0.0
	日本	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.0
	サウジアラビア	1.1	0.9	1.2	1.3	1.1	15.4
その他	17.9	19.4	18.4	18.1	18.2	0.5	
計	24.4	27.8	27.6	25.2	25.1	0.5	
期末在庫量	150.4	139.2	109.7	84.0	68.4	18.6	
在庫率	38.2	34.0	26.9	20.3	16.5	3.7	

資料: USDA「Grain: World Markets and Trade (October 2004)」

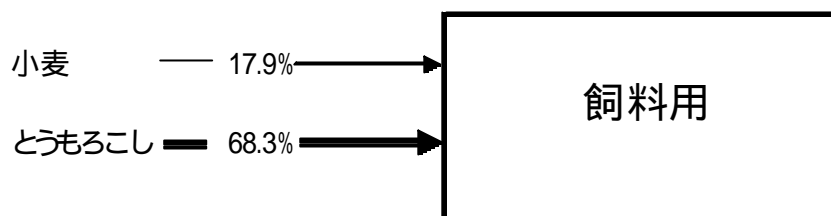
注: 1) 年度区分は、2004/05年度についてみると、生産量は北半球の2004年後半と2005年初めに収穫されるもの、及び南半球の2004年の前半に収穫されるもの計(見込み)であり、貿易量は2004暦年、消費量、期末在庫量は各国市場年度(末)の計(見込み)である。

2) 全て精米ベースである。

3) 在庫率の対前年度増減率は前年度とのポイント差である。

(参考)

1 . 穀物等と畜産物の関係 (2004/05年度)



(資料) 米国農務省 『Grain: World Markets and Trade (October 2004)』

2 . 農産物の貿易率

(単位 :%)

	貿易率
小麦 (2004/05年度)	17.2
とうもろこし (2004/05年度)	11.2
大豆 (2004/05年度)	27.8
牛肉 (2002年)	9.6
豚肉 (2002年)	4.0
家禽肉 (2002年)	9.7
野菜 (2002年)	5.7
柑橘類 (2002年)	6.9

(資料) 1. 小麦、とうもろこしについては米国農務省 『Grain: World Markets and Trade (October 2004)』、大豆については米国農務省 『Oilseeds: World Markets and Trade (October 2004)』、牛肉、豚肉、家禽肉、野菜、柑橘類についてはFAO 『FAOSTAT』

2. 貿易率とは輸出量 / 生産量。